

令和7年度 県立米子白鳳高等学校管理特別教室棟 屋上防水改修工事

図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙 図面リスト	NO-SCALE
A-01	建築改修工事仕様書(1)	NO-SCALE
A-02	建築改修工事仕様書(2)	NO-SCALE
A-03	敷地案内図 全体配置図 工事概要	S=1/1200
A-04	[現況図] 1階平面図 2階平面図	S=1/200
A-05	[現況図] 3階平面図 屋上平面図	S=1/200
A-06	[現況図] 立面図 断面図	S=1/200
A-07	[改修前] 屋上平面図	S=1/120
A-08	[改修後] 屋上平面図	S=1/120
A-09	[改修図] 部分詳細図(1)	S=1/20
A-10	[改修図] 部分詳細図(2)	S=1/20
A-11	[改修図] 部分詳細図(3)	S=1/20
A-12	[改修図] 部分詳細図(4)	S=1/20



高垣設計室 ROOM TAKAGAKI ARCHITECT & DESIGNROOM 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第03-1324号	TITLE NAME 県立米子白鳳高等学校管理特別教室棟屋上防水改修工事	SCALE NO-SCALE	DATE 令和07.08	意匠設計担当 高垣 護	DRAWING NO. 03	DRAWING NO. A-00
	DRAWING NAME 表紙 図面リスト	A3版図面縮小率: 70.7%		一級建築士大臣登録 第279890号		

3	防水改修工事	<p>既存下地の処理 [3.2.6]</p> <p>補修箇所形状、長さ、数量等 ※図示</p> <p>POS工法及びPOS1工法（機械的固定工法）の既存保護層を撤去し、防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(f)①～③による</p> <p>※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による</p> <p>設備機器架台、配管架台、パラペット、貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部の納まり部の処理 ※図示による。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する。</p>																																																
		<p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>総経路シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">P2A</td> <td>A-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">※ポリエチレンフィルム</td> <td rowspan="3">・乾式保護材 ・コンクリート</td> </tr> <tr> <td>A-2</td> </tr> <tr> <td>A-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1B</td> <td>B-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス</td> <td rowspan="2">・押し入れ ・れんが押入 ※JIS R 1250</td> </tr> <tr> <td>B-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">P2A1</td> <td>A1-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">(材質) ※ JIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム</td> <td rowspan="3">※フラットヤーンクロス (70g/m程度)</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>A1-2</td> </tr> <tr> <td>A1-3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1B1</td> <td>B1-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">断熱材3種a (スキャン付き)</td> <td rowspan="2">厚さ ※25mm・50mm</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>B1-2</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	総経路シート	立上り部の保護	P2A	A-1			※ポリエチレンフィルム	・乾式保護材 ・コンクリート	A-2	A-3	P1B	B-1			厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス	・押し入れ ・れんが押入 ※JIS R 1250	B-2	P2A1	A1-1		(材質) ※ JIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム	※フラットヤーンクロス (70g/m程度)		A1-2	A1-3	P1B1	B1-1		断熱材3種a (スキャン付き)	厚さ ※25mm・50mm		B1-2												
工法	種別	施工箇所	断熱材	総経路シート	立上り部の保護																																													
P2A	A-1			※ポリエチレンフィルム	・乾式保護材 ・コンクリート																																													
	A-2																																																	
	A-3																																																	
P1B	B-1			厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス	・押し入れ ・れんが押入 ※JIS R 1250																																													
	B-2																																																	
P2A1	A1-1		(材質) ※ JIS A 9521による押出法ポリスチレンフォーム	※フラットヤーンクロス (70g/m程度)																																														
	A1-2																																																	
	A1-3																																																	
P1B1	B1-1		断熱材3種a (スキャン付き)	厚さ ※25mm・50mm																																														
	B1-2																																																	
4	アスファルト防水 [3.2.2~5] [表3.3.3-10]	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.5及び表3.3.6による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ</p> <p>こて仕上げ ※水下 80mm以上</p> <p>床タイル張り ※水下 60mm以上</p> <p>・乾式保護材</p> <p>※業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したものの</p> <p>金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの。</p> <p>(品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>分類・規格</th> <th>業系系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)</th> <th>業系系パネルⅡ類 (一般地仕様)</th> <th>金属複合板</th> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>厚さ(mm)</td> <td>幅(mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td>厚さ：+10%、-5%、幅：±1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td>出荷時において10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモジュール</td> <td>標準時 550以上</td> <td>450以上</td> <td>300以上</td> </tr> <tr> <td>(0・cm) (h)×40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモジュール</td> <td>400以上 (試験サイクル数)</td> <td>320以上 (200)</td> <td>250以上 (300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率 (%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率 (%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍融融解性能</td> <td>曲げ強さ、モーメント凍融融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td>質量500g (業系系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 塊変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>剛性(E×I)</td> <td>スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	分類・規格	業系系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	業系系パネルⅡ類 (一般地仕様)	金属複合板	寸法(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)		寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%			出荷時の含水率	出荷時において10%以下			曲げ強さ・曲げモジュール	標準時 550以上	450以上	300以上	(0・cm) (h)×40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモジュール	400以上 (試験サイクル数)	320以上 (200)	250以上 (300)	吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下	難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍融融解性能	曲げ強さ、モーメント凍融融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと			耐衝撃性能	質量500g (業系系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 塊変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下			剛性(E×I)	スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性		
		分類・規格	業系系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)	業系系パネルⅡ類 (一般地仕様)	金属複合板																																													
寸法(mm)	厚さ(mm)	幅(mm)																																																
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																	
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																	
曲げ強さ・曲げモジュール	標準時 550以上	450以上	300以上																																															
(0・cm) (h)×40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモジュール	400以上 (試験サイクル数)	320以上 (200)	250以上 (300)																																															
吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下																																															
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																															
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃																																															
耐凍融融解性能	曲げ強さ、モーメント凍融融解完了時の試験サイクル後、著しい割れや剥離がなく、外観上異常がないこと																																																	
耐衝撃性能	質量500g (業系系パネルⅠ類は1,000g)のおもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。 塊変形量1/100以下かつ加圧時の最大変形量4/100以下																																																	
剛性(E×I)	スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に、荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性																																																	
試験方法	<p>1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。</p> <p>(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法をJIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックスルーラー又は、JIS B 7516「金属製直尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。</p> <p>2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央幅に集中荷重を載せ、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍融融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目にわたって測定する。(業系系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。)</p> <p>なお、荷重を加える前の平均速度は1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。</p> <p>3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。</p> <p>4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。</p> <p>5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体(幅40mm×長さ160mm×素材厚さ)を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム(試薬)」に規定する塩化カルシウム又はJIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで満たしたデンシケータに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の繊維間隔が140mmになるように繊維を剥む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて繊維間の長さを測定し、それを基準(L1)とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、</p>																																																	

3	防水改修工事	<p>・P001 ・M301 ・M401</p> <p>※01-1 ※01-2</p> <p>JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡ポリウレタン断熱材</p> <p>※硬質ポリウレタン断熱材2種1号</p> <p>厚さ ※ 25mm ・ 50mm</p> <p>※製造所の仕様</p> <p>断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</p>																																									
		<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.7による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による</p> <p>断気装置の種類 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定</p> <p>断気装置の設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定</p> <p>屋根露出防水断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">屋内防水 [表3.3.10]</th> </tr> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1E</td> <td>E-1</td> <td rowspan="2"></td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td>E-2</td> <td>・設けない</td> </tr> <tr> <td colspan="4">E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">押し入れの材質及び形状寸法</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</td> </tr> <tr> <td colspan="4">屋上排水溝 ※図示</td> </tr> </table>	屋内防水 [表3.3.10]				工法	種別	施工箇所	保護層	P1E	E-1		・設ける	E-2	・設けない	E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)				押し入れの材質及び形状寸法				※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度				屋上排水溝 ※図示														
屋内防水 [表3.3.10]																																											
工法	種別	施工箇所	保護層																																								
P1E	E-1		・設ける																																								
	E-2		・設けない																																								
E-1の場合で工程3を行う部位 (※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)																																											
押し入れの材質及び形状寸法																																											
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度																																											
屋上排水溝 ※図示																																											
6	合成高分子ルーフィングシート防水 [3.3.2~4] [表3.5.1~3]	<p>防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率 防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">POS</td> <td rowspan="2">S-F1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2">G</td> <td rowspan="2">断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S4S</td> <td rowspan="2">S-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2">G</td> <td rowspan="2">断気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">S3S</td> <td rowspan="3">S-F1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> <td rowspan="3">G</td> <td rowspan="3">断気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4S</td> <td rowspan="3">S-M1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> <td rowspan="3">G</td> <td rowspan="3">断気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> </tr> <tr> <td>S-M3</td> </tr> </table>	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用	備考	POS	S-F1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	S-F2	S4S	S-M1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない	S-M2	S3S	S-F1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない	S-F2	S-M1	M4S	S-M1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない	S-M2	S-M3
		工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用	備考																																			
POS	S-F1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																					
							S-F2																																				
S4S	S-M1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない																																					
							S-M2																																				
S3S	S-F1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない																																					
							S-F2																																				
							S-M1																																				
M4S	S-M1			※製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない																																					
							S-M2																																				
							S-M3																																				
<p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による</p> <p>断気装置の種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p> <p>断気装置の設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定</p> <p>押し入れ物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>断熱断熱工法の防水シート ・設置する ・設置しない</p>																																											

3	防水改修工事	<p>・P001 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</p> <p>※改修標準仕様書3.5.2(a) (3)(h)による</p> <p>(厚さ)・25mm</p> <p>断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</p>																																			
		<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.5.2(a) (3)(h)による</p> <p>(厚さ)・25mm</p> <p>断気装置 ・設ける ・設けない</p>																																			
9	環境配慮改修工事	<p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様</p> <p>※非歩行仕様 ・ 歩行仕様</p> <p>S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム</p> <p>※ 設けない ・ 設ける</p> <p>S1-M2の断熱用シートの場合</p> <p>※ 発泡ポリエチレンシート</p> <p>S-M2及びS1-M2の立上り部の工法</p> <p>※ 建築工法 (立上り部のシートの厚さ ※1.5mm) ・ 機械的固定工法</p>																																			
		<p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> <th rowspan="2">立上り部の保護</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>モルタル塗布</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">S-C1</td> <td rowspan="2"></td> <td>・床塗り</td> <td>・下地モルタル塗り</td> <td>※7mm以下</td> </tr> <tr> <td>・床塗り</td> <td>・下地モルタル塗り</td> <td></td> </tr> </table> <p>屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ</p> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書9.4.1から9.4.3による</p> <p>断熱用シートの種類 ※ 発泡ポリエチレンシート</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さが0.4mm以上のもの</p> <p>接着工法の場合の断気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>接着工法の場合の断気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>プレキャストコンクリート部材の目地処理 (接着工法の場合)</p> <p>・ 行う (図示) ・ 行わない</p> <p>プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り (種別S-F1、S1-F1の場合)</p> <p>・ 行う (図示) ・ 行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>	種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護	平場のモルタル塗り	モルタル塗布	S-C1		・床塗り	・下地モルタル塗り	※7mm以下	・床塗り	・下地モルタル塗り																					
種別	施工箇所	保護層			立上り部の保護																																
		平場のモルタル塗り	モルタル塗布																																		
S-C1		・床塗り	・下地モルタル塗り	※7mm以下																																	
		・床塗り	・下地モルタル塗り																																		
10	シーリング [3.7.2~8] [表3.7.1]	<p>防水層の種類 [3.6.2.3] [表3.6.2.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率 防水の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">POX</td> <td rowspan="2">X-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">G</td> <td rowspan="2">断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>X-2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">L4X</td> <td rowspan="2">X-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">G</td> <td rowspan="2">断気装置 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>S3X</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P1Y</td> <td rowspan="2">Y-2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">※主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">G</td> <td rowspan="2">保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>P2Y</td> </tr> </table> <p>X-1 (断熱工法)の断気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様</p> <p>X-1 (断熱工法)の断気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様</p> <p>シーリング改修工法の種類</p> <p>・シーリング充てん工法</p> <p>・シーリング再充てん工法</p> <p>・拡張シーリング再充てん工法</p> <p>・ブリッジ工法</p> <p>ポンドプレーカー張り ・適用する ・適用しない</p> <p>エッジング材張り ・適用する ・適用しない</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所</p> <p>下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> <tr> <td>垂壁防水一金物取合い、垂壁防水端部</td> <td>シリカゲル系 (PU-2)</td> </tr> <tr> <td>T&I押し入れ物取合い、梁台廻り取合い</td> <td>ゴムアスファルト系</td> </tr> <tr> <td>T&I押し入れ物取合い、改質AS防水取合い</td> <td>変成シリコン系 (MS-2)</td> </tr> </table> <p>仕上を行わない施工箇所 ※ 図示による ・ 打継目地</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a)1~(3)による</p> <p>接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験</p>	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用	備考	POX	X-1		※主材料の製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	X-2	L4X	X-1		※主材料の製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない	S3X	P1Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様	G	保護層 ・設ける ・設けない	P2Y	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)	垂壁防水一金物取合い、垂壁防水端部	シリカゲル系 (PU-2)	T&I押し入れ物取合い、梁台廻り取合い	ゴムアスファルト系	T&I押し入れ物取合い、改質AS防水取合い	変成シリコン系 (MS-2)
		工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率 防水の適用	備考																														
POX	X-1		※主材料の製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない																																
						X-2																															
L4X	X-1		※主材料の製造所の仕様	G	断気装置 ・設ける ・設けない																																
						S3X																															
P1Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様	G	保護層 ・設ける ・設けない																																
						P2Y																															
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																				
垂壁防水一金物取合い、垂壁防水端部	シリカゲル系 (PU-2)																																				
T&I押し入れ物取合い、梁台廻り取合い	ゴムアスファルト系																																				
T&I押し入れ物取合い、改質AS防水取合い	変成シリコン系 (MS-2)																																				
<p>シーリング [3.7.2~8] [表3.7.1]</p> <p>といの材質 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管</p> <p>ルーフトレンドレン</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用 (・縦型 ・ 横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </table> <p>とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔</p> <p>※改修標準仕様書3.8.2cにより、溶融亜鉛めっきを行ったもの</p> <p>多雲地域 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※ F☆☆☆☆</p> <p>鋼管製といの防露巻き ・ 適用する (工法) ※ 標準仕様書13.5.4による</p> <p>・ 適用しない</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書3.8.4による</p> <p>たてとい受金物の取付け ※図示</p>	種別	施工箇所	・ろく屋根用 (・縦型 ・ 横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用																														
種別	施工箇所																																				
・ろく屋根用 (・縦型 ・ 横型)																																					
・バルコニー用																																					
・バルコニー中継用																																					

3	防水改修工事	<p>既存立木等の撤去 ・ 行う (範囲) ・ 図示 ・ 再使用</p> <p>・ 行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示</p> <p>板材折曲げ形の梁木の取付方法 ※図示</p> <p>梁木の固定金具の工法等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>																																																																				
		<p>防水改修フロー及び数量</p> <p>・ 既存保護層の補修及び処置</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="10">防水面積調査 (施工数量調査)</th> </tr> <tr> <td colspan="10">ひび割れ部補修</td> </tr> <tr> <td colspan="2">アスファルト防水工法用シート材 (幅300mm)</td> <td colspan="2">防水のうえにポリウレタン樹脂 (厚3mm以上)</td> <td colspan="2">ポリマーセメントモルタル補修</td> <td colspan="2">断熱のうえにポリウレタン樹脂 (厚3mm以上)</td> <td colspan="2">アスファルト防水工事用シート材 (幅300mm)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2">mm</td> <td colspan="2">mm</td> </tr> <tr> <td colspan="10">シーリング調査</td> </tr> <tr> <td colspan="10">シーリング再充てん工法</td> </tr> <tr> <td colspan="10">mm × mm mm × mm</td> </tr> </table>	防水面積調査 (施工数量調査)										ひび割れ部補修										アスファルト防水工法用シート材 (幅300mm)		防水のうえにポリウレタン樹脂 (厚3mm以上)		ポリマーセメントモルタル補修		断熱のうえにポリウレタン樹脂 (厚3mm以上)		アスファルト防水工事用シート材 (幅300mm)		mm		mm		mm		mm		mm		シーリング調査										シーリング再充てん工法										mm × mm mm × mm							
防水面積調査 (施工数量調査)																																																																						
ひび割れ部補修																																																																						
アスファルト防水工法用シート材 (幅300mm)		防水のうえにポリウレタン樹脂 (厚3mm以上)		ポリマーセメントモルタル補修		断熱のうえにポリウレタン樹脂 (厚3mm以上)		アスファルト防水工事用シート材 (幅300mm)																																																														
mm		mm		mm		mm		mm																																																														
シーリング調査																																																																						
シーリング再充てん工法																																																																						
mm × mm mm × mm																																																																						
9	環境配慮改修工事	<p>1 石綿含有建材の除去工事 [9.1.1] [9.1.3-6]</p> <p>※ 県有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。</p> <p>施工調査</p> <p>・ 石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び目撃する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</p> <p>調査範囲 (監督員と協議) ・ 図示</p> <p>資料 ()</p> <p>・ 分析による石綿含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクリルライト、アモサイト、アンソフライト、クリソタイト、クロソタイト、トシモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-1XJIS A 1481-2</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-3XJIS A 1481-4</td> <td>・ 箇所</td> <td>・ 箇所</td> </tr> </table> <p>材料が仕上塗料の場合は、層ごとの分析を行うこと</p> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・ 図示</p> <p>分析結果については、監督職員に報告すること</p>	材料名	定性分析	定量分析	JIS A 1481-1XJIS A 1481-2	・ 箇所	・ 箇所	JIS A 1481-3XJIS A 1481-4	・ 箇所	・ 箇所																																																											
		材料名	定性分析	定量分析																																																																		
JIS A 1481-1XJIS A 1481-2	・ 箇所	・ 箇所																																																																				
JIS A 1481-3XJIS A 1481-4	・ 箇所	・ 箇所																																																																				
<p>石綿含有建材の処理</p> <p>石綿含有吹き付け材の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・ セメント固化</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の処分</p> <p>・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有成形板等の除去</p> <p>除去対象範囲 ※図示</p> <p>除去工法 ※図示</p> <p>除去した石綿含有吹き付け材等の処分</p> <p>・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有石こうボード</p> <p>・ 埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・ 石綿含有石こうボードを除くアスベスト含有成形板</p> <p>・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・ 石綿含有仕上塗料又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去</p> <p>下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による</p> <p>除去工法</p> <p>※石綿含有予防規制 (平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第六による条</p> <p>措置と同時にその効果を有する措置とされる工法</p> <p>・ 集じん装置併用手工クレーン工法</p> <p>・ 集じん装置付高圧水洗工法 (15MPa以下、30~50MPa程度)</p> <p>・ 集じん装置付超高圧水洗工法 (100MPa以上)</p> <p>・ 超音波クレーン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用)</p> <p>・ 制御剤併用手工クレーン工法</p> <p>・ 制御剤併用高圧水洗工法 (30~50MPa程度)</p> <p>・ 制御剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上)</p> <p>・ 制御剤併用超音波クレーン工法</p> <p>・ 集じん装置付ディスククレーンクレーン工法</p> <p>※図示</p> <p>作業時の隔離 ※行わない ・ 行う</p> <p>試験施工 ※行わない ・ 行う</p> <p>除去した石綿含有仕上塗料の処分</p> <p>・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>除去した石綿含有仕上塗料の保管、運搬及び処分 ※改修標準仕様書9.1.3(3)による</p> <p>確認及び後片付け ※改修標準仕様書9.1.3(4)(7)、(9)、(a)及び(9)によるによる</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※図示</p> <p>石綿作業主任者</p> <p>特定科学物質等作業主任者技術講習を終了した者の内から選任する。</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者</p> <p>保温材については、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。</p>																																																																						

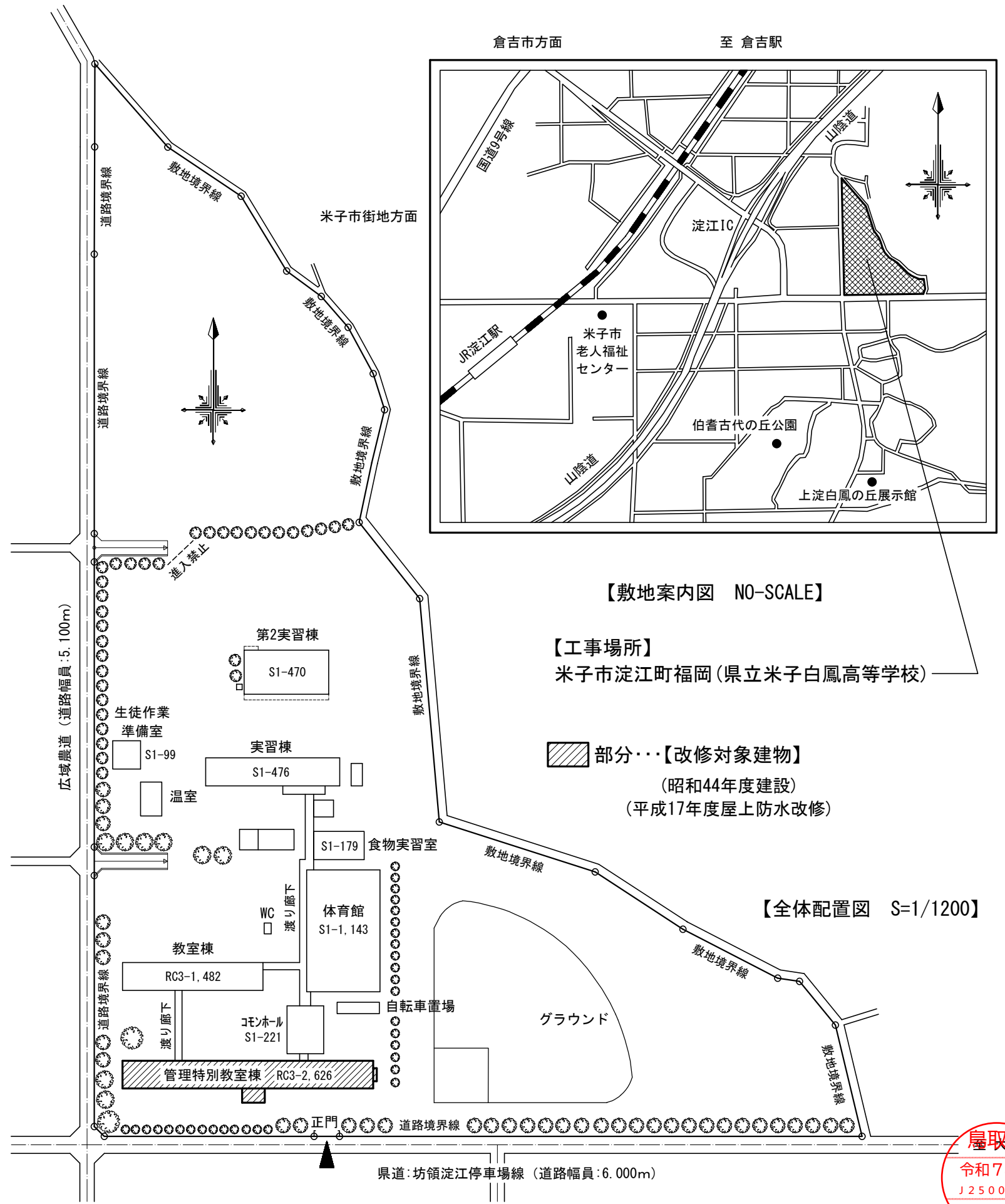
施設概要	用途	高等学校(管理特別教室棟)
	構造	RC造 地上3階建て
	建築面積	-----m ²
	延床面積	2,626.08m ²

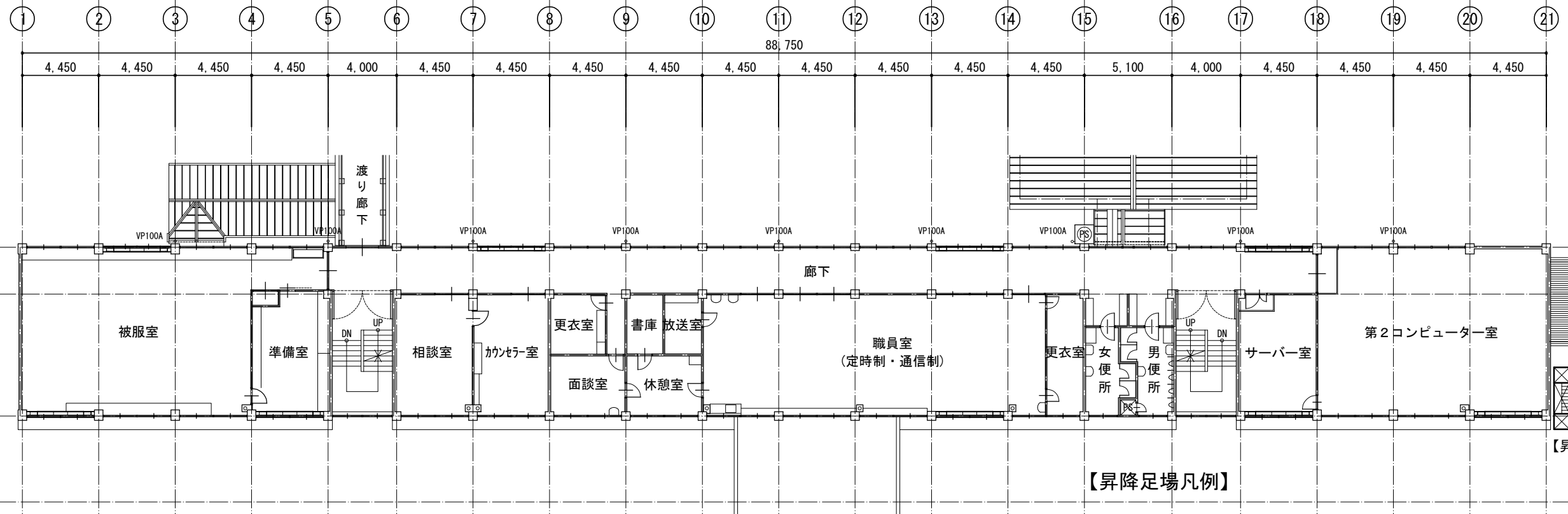
【工事概要】(屋上防水改修)

- 1) 屋上防水(平場部):既設合成高分子系ルーフィングシート防水[撤去]→改質アスファルトシート防水[AS-T3][新設]
- 2) 屋上防水(立上り):既設合成高分子系ルーフィングシート防水[撤去]→改質アスファルトシート防水[AS-T3][新設]
- 3) パラペット天端、煙突立上りアゴ天端、PS立上り(1)アゴ天端廻りのケレンゴム系塗膜防水 X-2[新設]
- 4) PS立上り(2)、設備架台(1)(2)、高架水槽基礎廻りのゴムアスファルト系塗膜防水 Y-2[新設]
- 5) 改修用ドレン(ドレンキャップ共)[撤去]→[新設]、ステンレス脱気筒[撤去]→[新設]
- 6) 同上改修についての付帯工事、及び外部足場(昇降足場)を設置

【特記事項】

- 本工事着工前に施設管理者と打合せを行い、休校日・学校行事予定(イベント等)を確認して施工すること。
- 本工事の工事工程、仮設計画の作成に於いては、施工場所の使用状況、搬入経路等、施設管理者及び監督員と協議の上、施工調整すること。
- 本工事期間中の際は、施設を使用しながらの工事となるので、施設関係者、一般利用者等、第三者に対する影響を考慮し、環境及び安全面に対して配慮すること。
- 工事に支障となる工作物、設備機器、樹木等がある場合は、養生シート等で覆うなど損傷が無いよう配慮すること。
- 施設内備品(工作物)、及び敷地内通路、周辺建築物、周辺工作物等に被害、損傷等を与えた場合は、すみやかに監督員に報告すると共に、受注者の責任に於いて復旧すること。
- 撤去された搬出物が、敷地内、道路内等に落下することのないよう、運搬車両に落下防止措置を行うこと。
(※落下した場合には、すみやかに清掃・跡片付を行うこと。)
- 本工事に於いて、使用する建設機械(クレーン車、発動発電機等含む)は、排出ガス対策型建設機械を使用し、かつ低騒音型・低振動型とすること。
- クレーン車等の使用時、及び工事車両の通行に際しては、事故防止に十分注意すると共に、交通誘導員を配置すること。
- 本工事に伴う粉塵対策についても、頻りに清掃するなど、塵埃が起きないように十分配慮すること。
- 本工事は、高所での作業が主であるため、落下物の人身事故、損傷事故がないように十分注意すること。
(※作業道具等、落下防止措置を行うこと。)
- 工事関係者の入校については、作業前・作業終了後に学校側(施設管理者)に毎回報告して施設内を通行すること。
また、休校日、早朝作業時は、学校側(施設管理者)と協議して了承を得て施工すること。
- 作業終了後は、外部足場の最下段の昇降階段を取り外すこと。(第三者立入禁止対策)

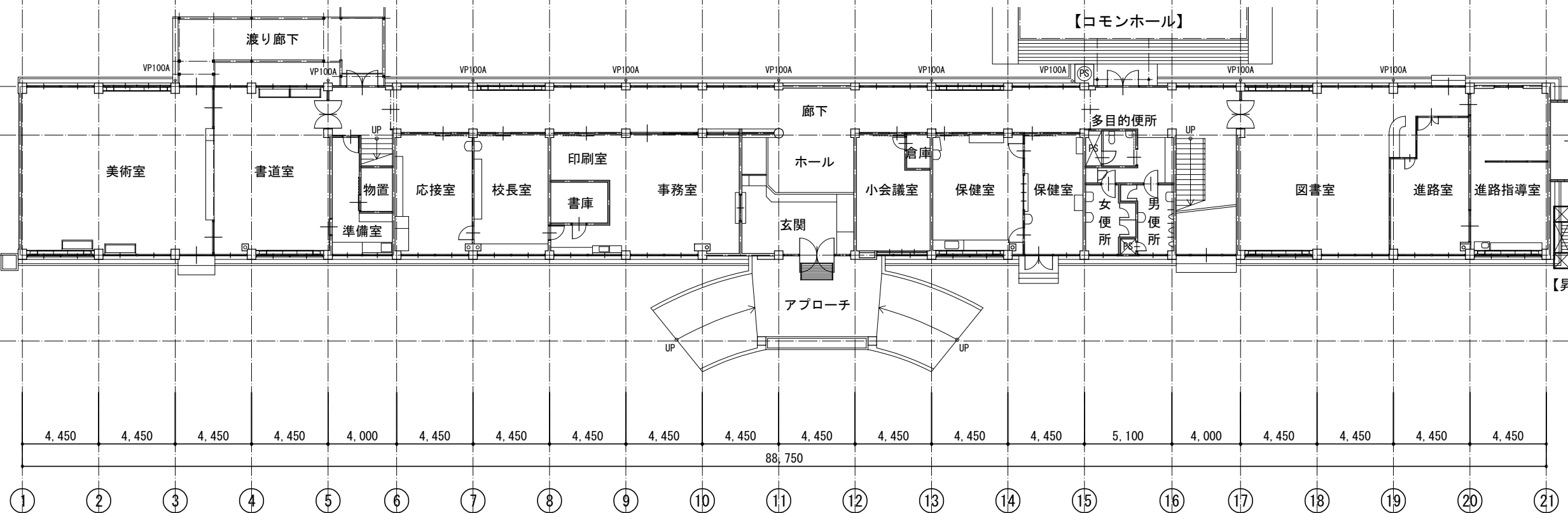




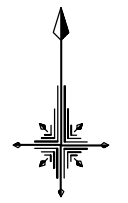
【〔現況図〕 2階平面図 S=1/200】

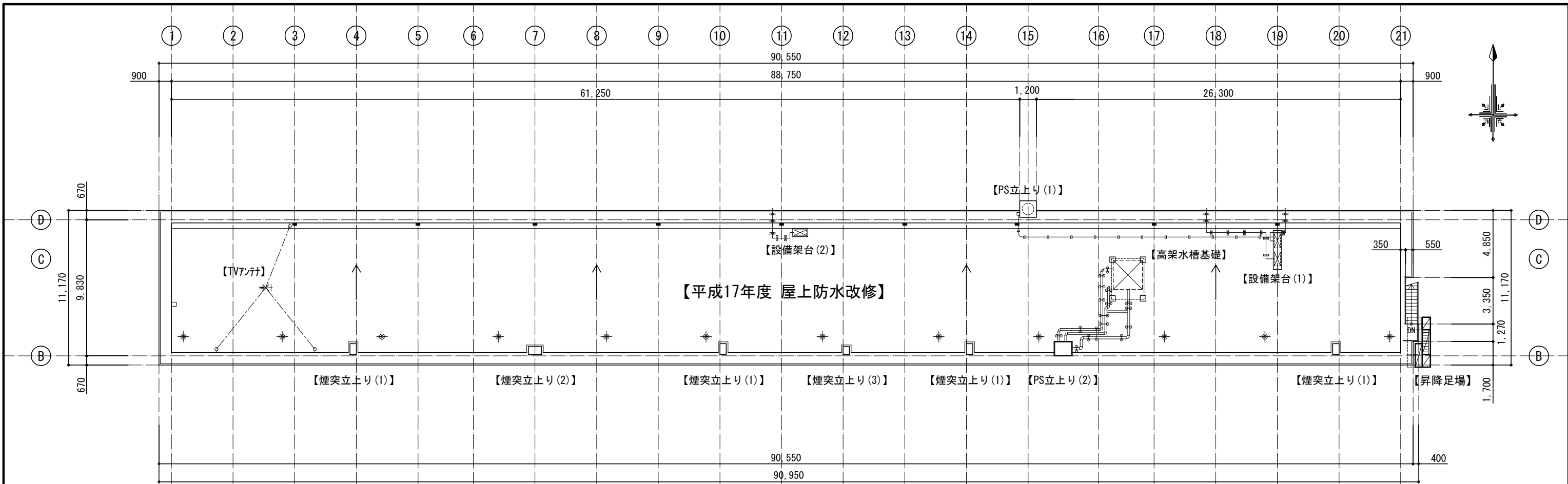
【昇降足場凡例】

- ...くさび緊結式足場 (建地幅900mm)・手すり先行方式、足場高さ H=10.800mm程度
- ...くさび緊結式足場 (建地幅600mm)・手すり先行方式、足場高さ H=12.600mm程度



【〔現況図〕 1階平面図 S=1/200】

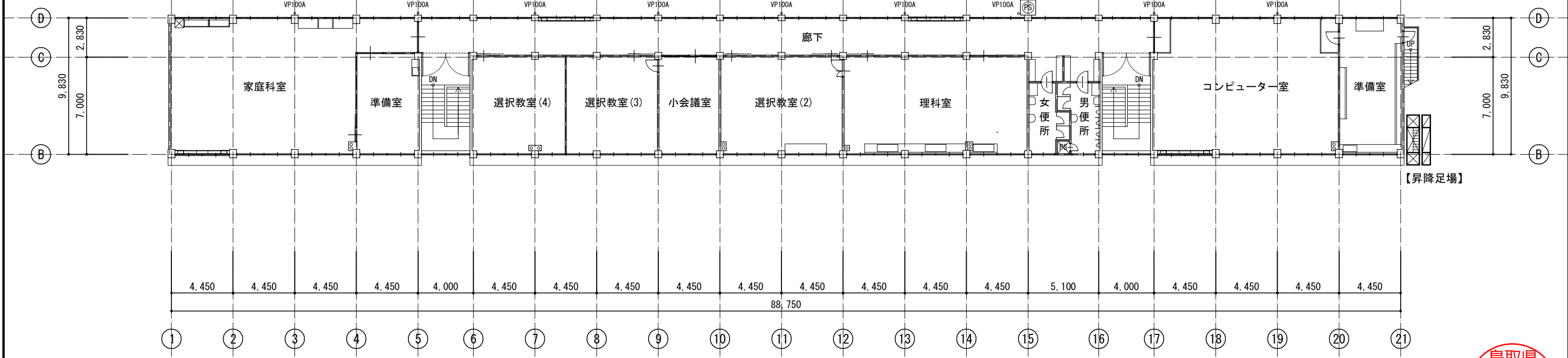




【【現況図】 屋上平面図 S=1/200】

【昇降足場凡例】

- ...くさび緊結式足場 (建地幅900mm)・手すり先行方式、足場高さ H=10.800mm程度
- ...くさび緊結式足場 (建地幅600mm)・手すり先行方式、足場高さ H=12.600mm程度

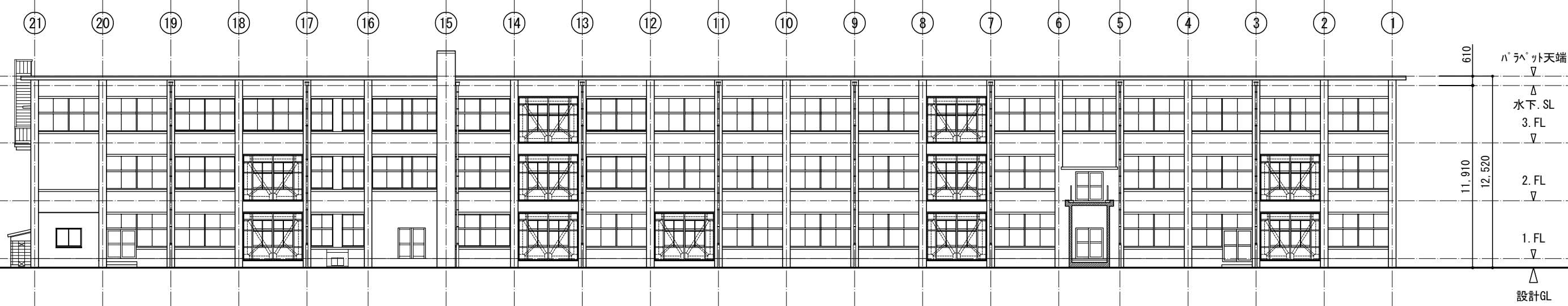


【【現況図】 3階平面図 S=1/200】

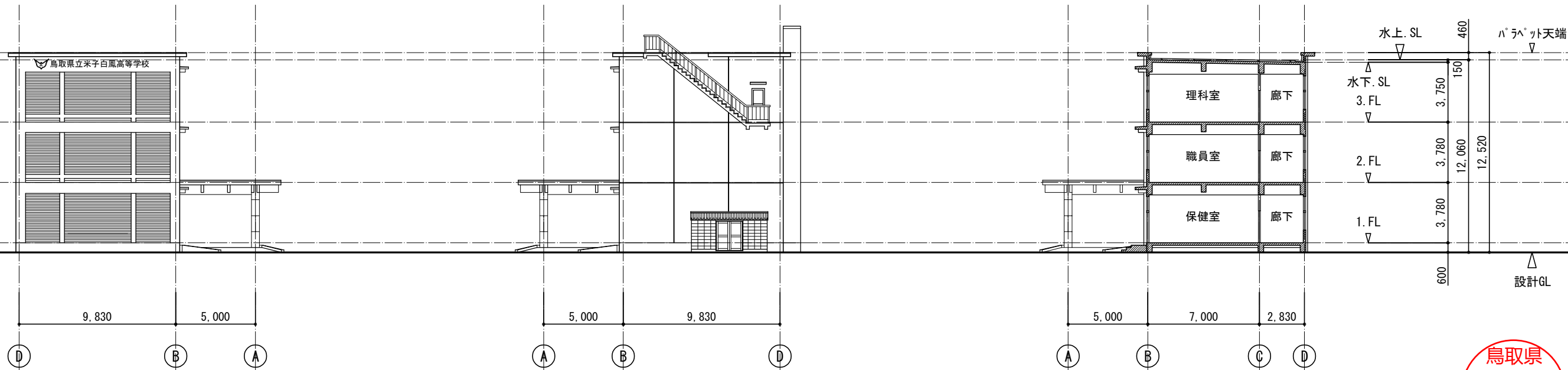




【【現況図】南面立面図 S=1/200】



【【現況図】北面立面図 S=1/200】





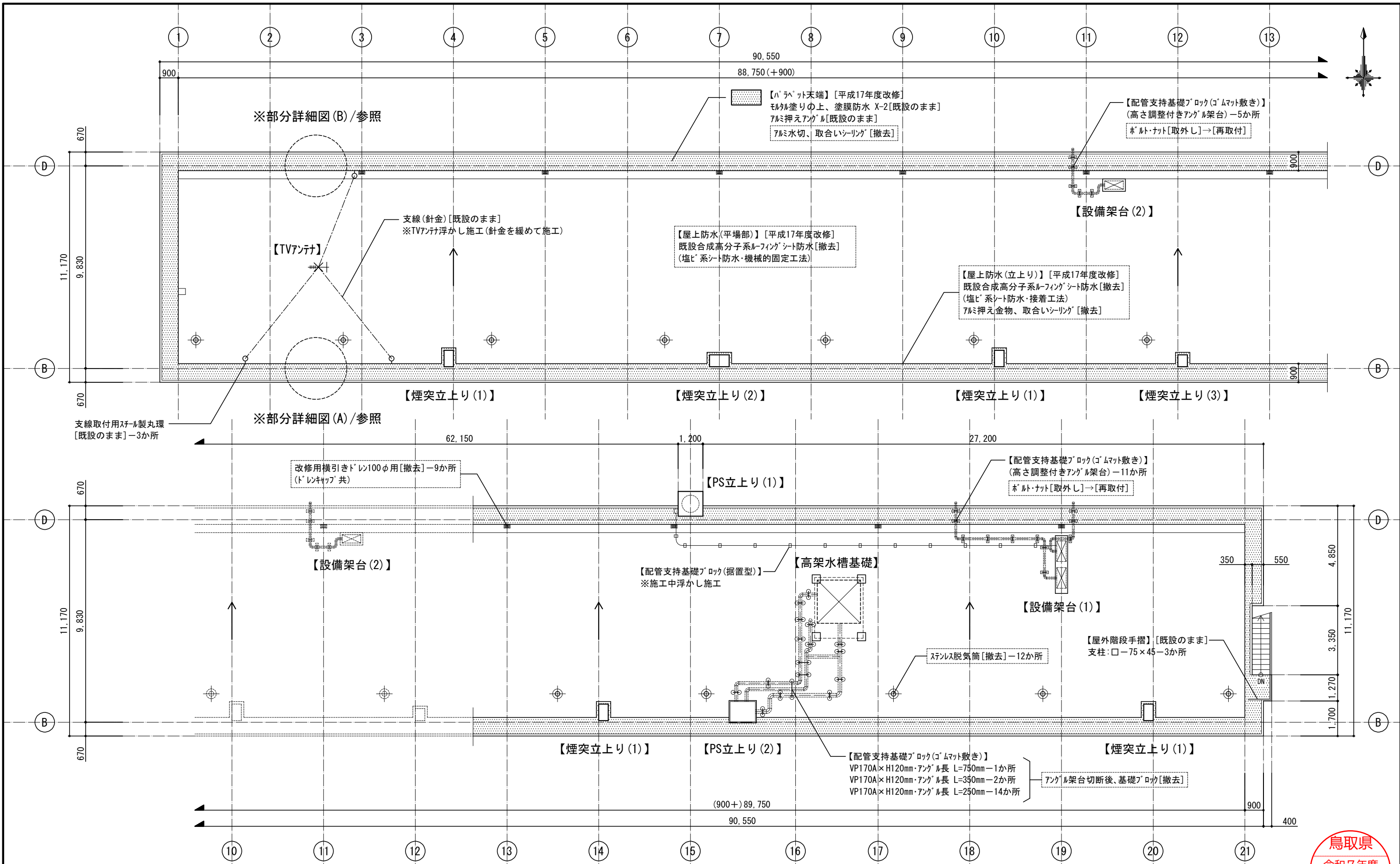
【【現況図】西面立面図 S=1/200】

【【現況図】東面立面図 S=1/200】

【【現況図】断面図 S=1/200】



 高垣設計室 ROOM TAKAGAKI ARCHITECT & DESIGN ROOM 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第03-1324号	TITLE NAME	県立米子白鳳高等学校管理特別教室棟屋上防水改修工事	SCALE	S=1/200	DATE	令和07.08	意匠設計担当	高垣 護	DRAWING NO.	A-06
	DRAWING NAME	【現況図】立面図 断面図	A3版図面縮小率: 70.7%		一級建築士大臣登録 第279890号					



※煙突立上り・PS立上り・各架台・配管支持基礎は、図面A-09～A-12/参照

【改修前】屋上平面図 S=1/120

■ 内は、改修内容を示す。



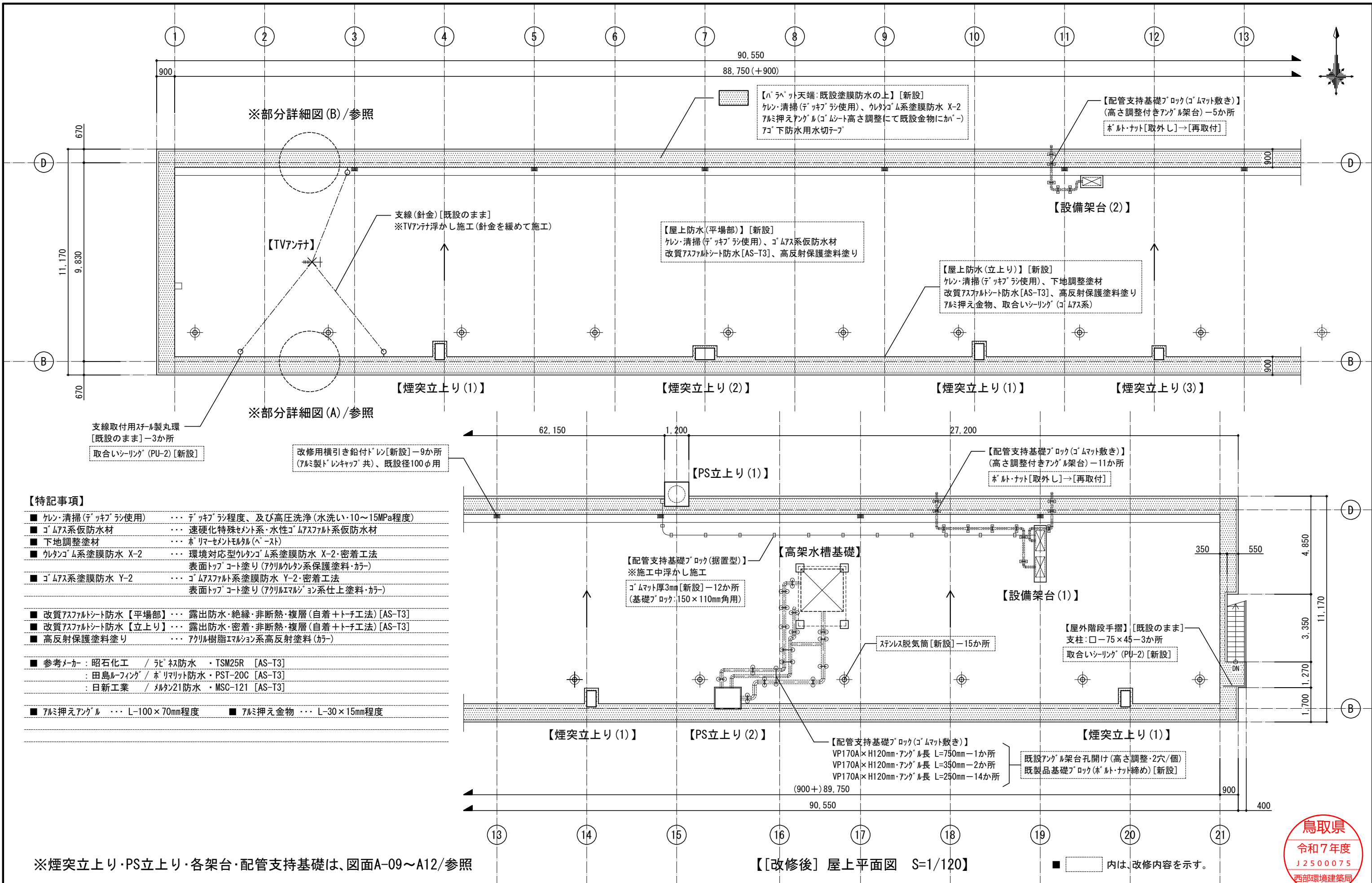
■ 既設防水層撤去は固定ディスク共[撤去]とし、固定アンカ頭部はサング-等で切削処理とする。

TD 高垣設計室
 ROOM TAKAGAKI ARCHITECT & DESIGNROOM
 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第03-1324号

TITLE NAME 県立米子白鳳高等学校管理特別教室棟屋上防水改修工事
 DRAWING NAME 【改修前】屋上平面図

SCALE S=1/120
 DATE 令和07.08
 A3版図面縮小率: 70.7%

意匠設計担当 高垣 護
 一級建築士大臣登録 第279890号
 DRAWING NO. A-07



- 【特記事項】**
- クレン・清掃(デッキブラシ使用) ... デッキブラシ程度、及び高圧洗浄(水洗い・10~15MPa程度)
 - ゴムアス系防水材 ... 速硬化特殊セメント系・水性ゴムアスファルト系防水材
 - 下地調整塗材 ... ポリマーセメントモルタル(ペースト)
 - ウレタンゴム系塗膜防水 X-2 ... 環境対応型ウレタンゴム系塗膜防水 X-2・密着工法
表面トップコート塗り(アクリルウレタン系保護塗料・カラー)
 - ゴムアス系塗膜防水 Y-2 ... ゴムアスファルト系塗膜防水 Y-2・密着工法
表面トップコート塗り(アクリルエマルジョン系仕上塗料・カラー)
 - 改質アスファルトシート防水【平場部】... 露出防水・絶縁・非断熱・複層(自着+トーチ工法) [AS-T3]
 - 改質アスファルトシート防水【立上り】... 露出防水・密着・非断熱・複層(自着+トーチ工法) [AS-T3]
 - 高反射保護塗料塗り ... アクリル樹脂エマルジョン系高反射塗料(カラー)
 - 参考メーカー: 昭石化工 / ヲビ 防水 ・ TSM25R [AS-T3]
: 田島ルフィング / ホリマ防水 ・ PST-20C [AS-T3]
: 日新工業 / マルタン21防水 ・ MSC-121 [AS-T3]
 - アルミ押えアングル ... L-100×70mm程度 ■ アルミ押え金物 ... L-30×15mm程度

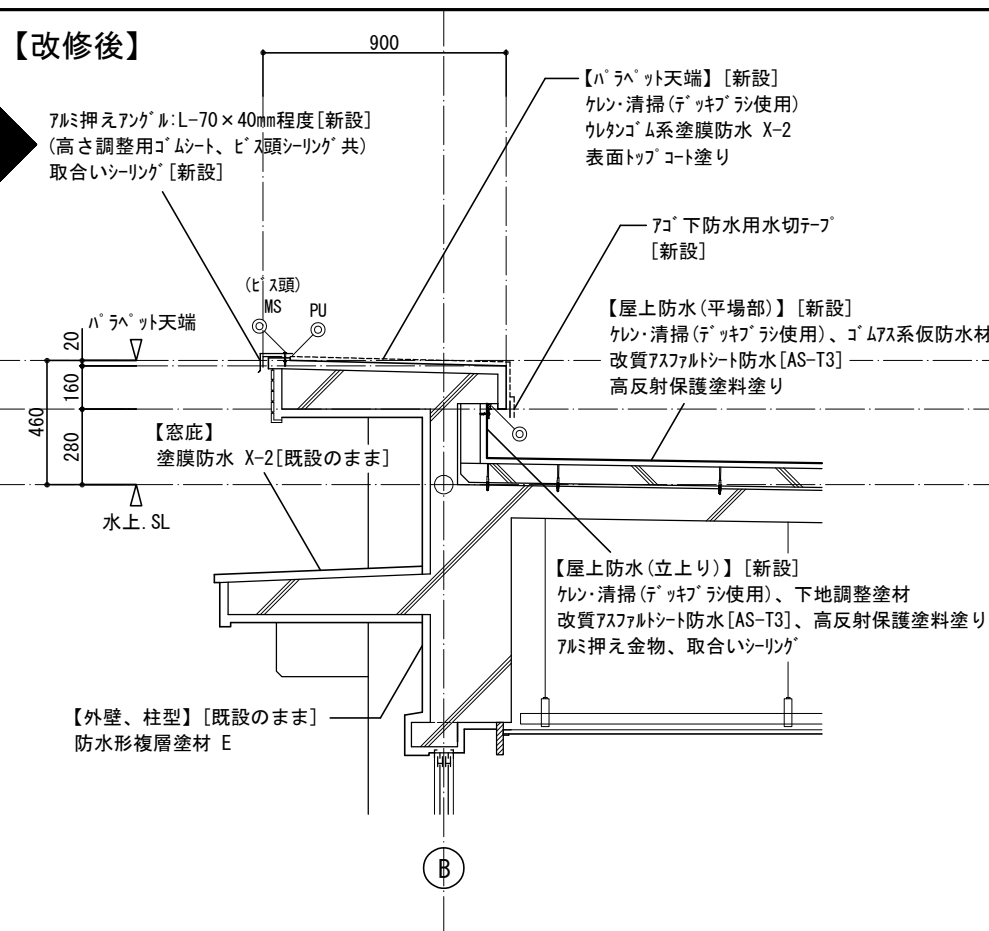
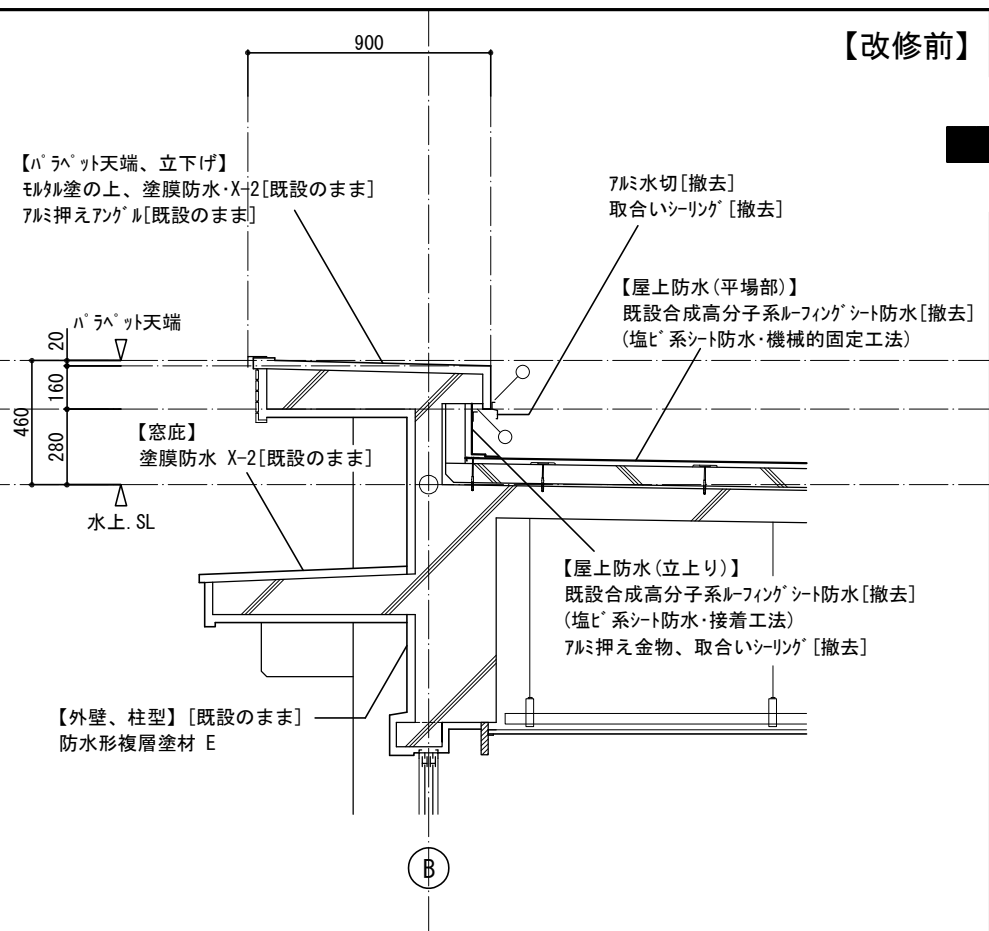
※煙突立上り・PS立上り・各架台・配管支持基礎は、図面A-09~A12/参照

【改修後】屋上平面図 S=1/120

■ □内は、改修内容を示す。



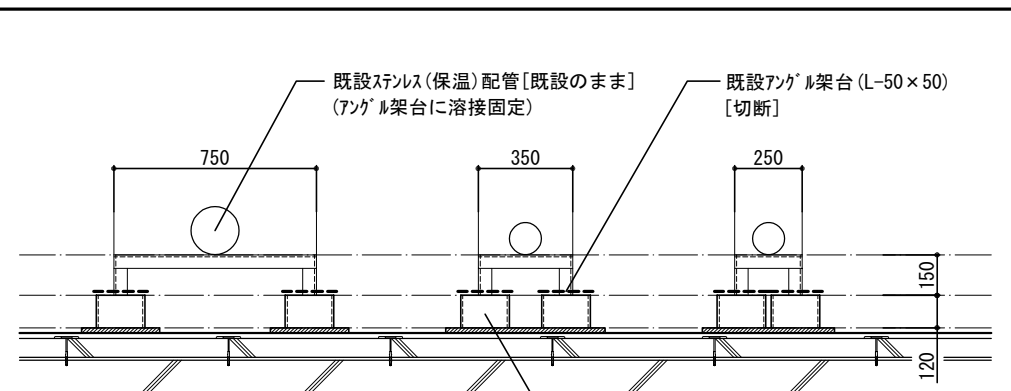
【ハレハット(水上)廻り】部分詳細図(A) S=1/20



【特記事項】

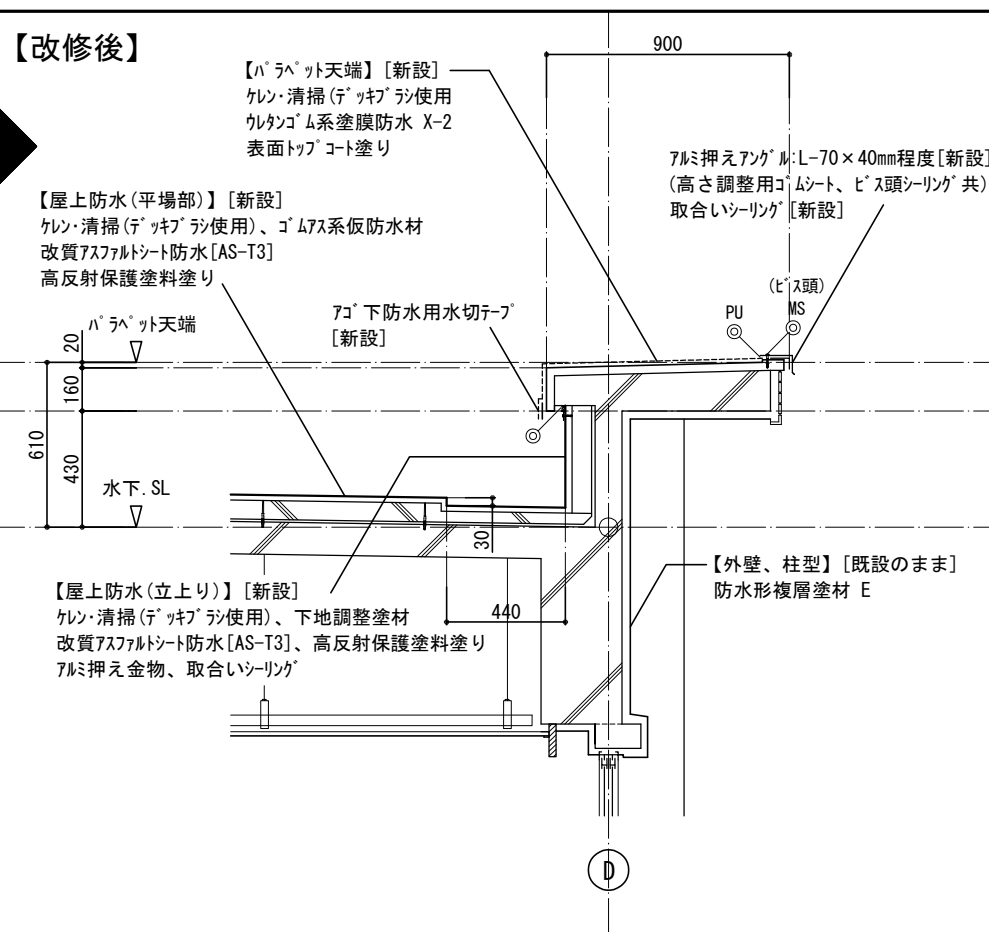
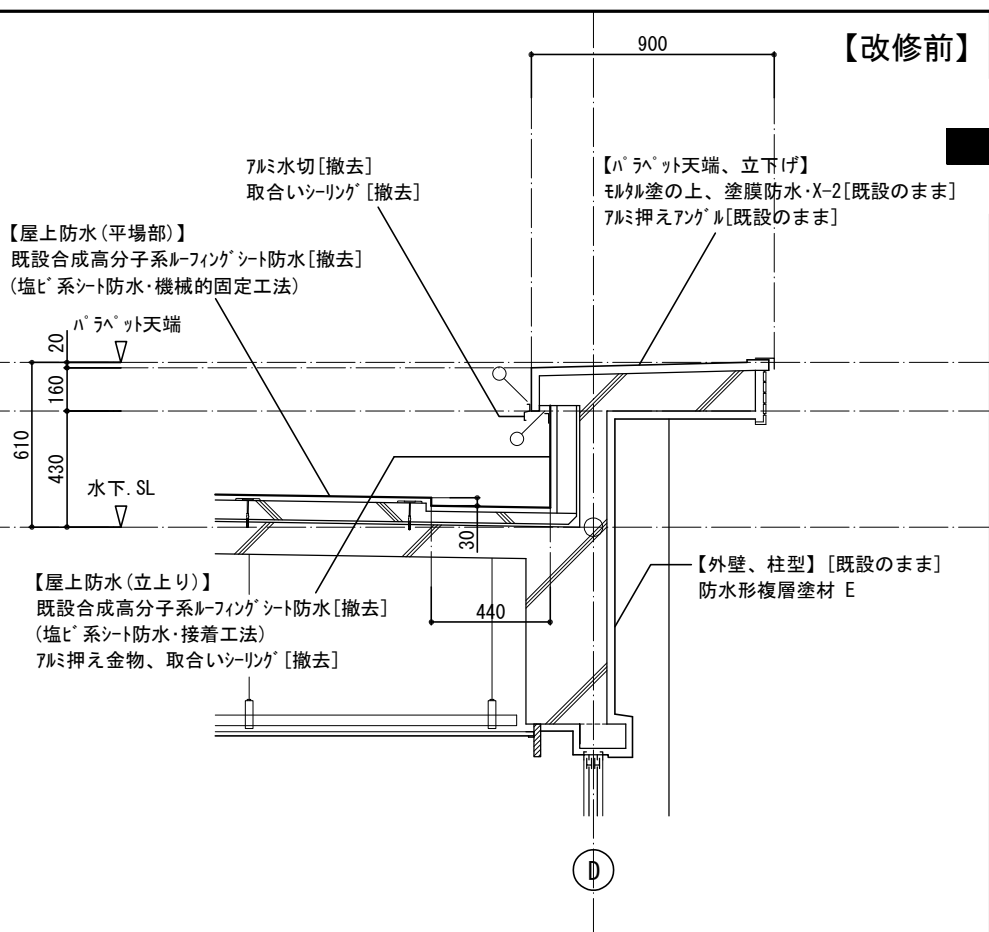
- クレン・清掃(デッキブラシ使用) ... デッキブラシ程度、及び高压洗浄(水洗い・10~15MPa程度)
 - ゴム系防水材 ... 速硬化特殊セメント系・水性ゴム系防水材
 - 下地調整塗材 ... ホリマセメントモルタル(ベスト)
 - ウレタン系塗膜防水 X-2 ... 環境対応型ウレタン系塗膜防水 X-2・密着工法
表面トップコート塗り(アクリル樹脂系保護塗料・カラー)
 - ゴム系塗膜防水 Y-2 ... ゴム系塗膜防水 Y-2・密着工法
表面トップコート塗り(アクリル樹脂系仕上塗料・カラー)
 - 改質アスファルト防水【平場部】 ... 露出防水・絶縁・非断熱・複層(自着+ト子工法) [AS-T3]
 - 改質アスファルト防水【立上り】 ... 露出防水・密着・非断熱・複層(自着+ト子工法) [AS-T3]
 - 高反射保護塗料塗り ... アクリル樹脂エマルジョン系高反射塗料(カラー)
- 参考メーカー : 昭石化工 / ラビ 防水 ・ TSM25R [AS-T3]
: 田島ルーフィング / ホリマ防水 ・ PST-20C [AS-T3]
: 日新工業 / マルタン21防水 ・ MSC-121 [AS-T3]
- アルミ押えアングル ... L-100×70mm程度
 - MS ... 変成シリコン系シーリング材【新設】
 - PU ... ホリウレタン系シーリング材【新設】
 - アルミ押え金物 ... L-30×15mm程度
 - ... ゴム系防水シーリング材【新設】

【配管支持基礎ブロック】詳細図 S=1/20

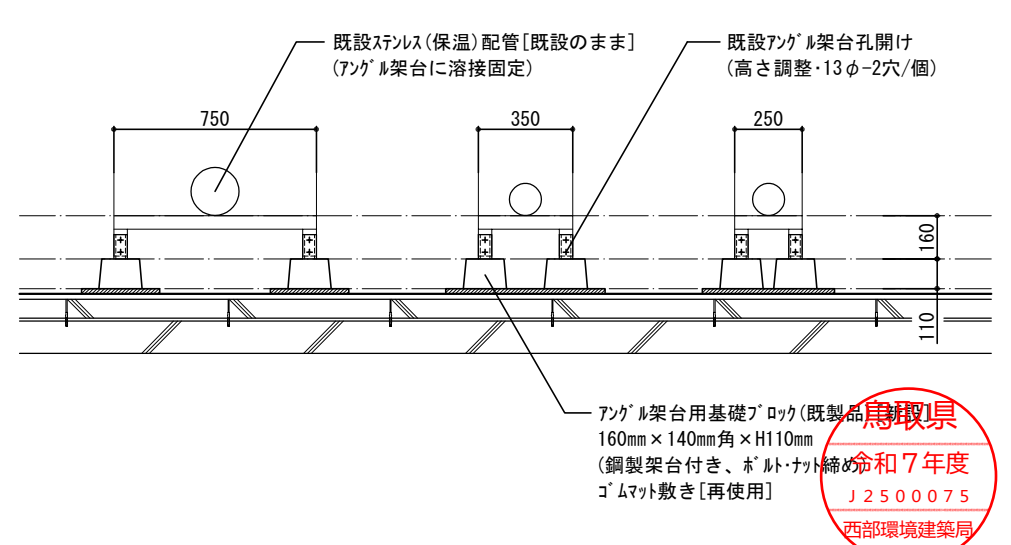


【配管支持基礎ブロック(ゴムマット敷き)】
 VP170A×H120mm・アングル長 L=750mm—1か所(2個)
 VP170A×H120mm・アングル長 L=350mm—2か所(4個)
 VP170A×H120mm・アングル長 L=250mm—14か所(28個)

【ハレハット(水下)廻り】部分詳細図(B) S=1/20



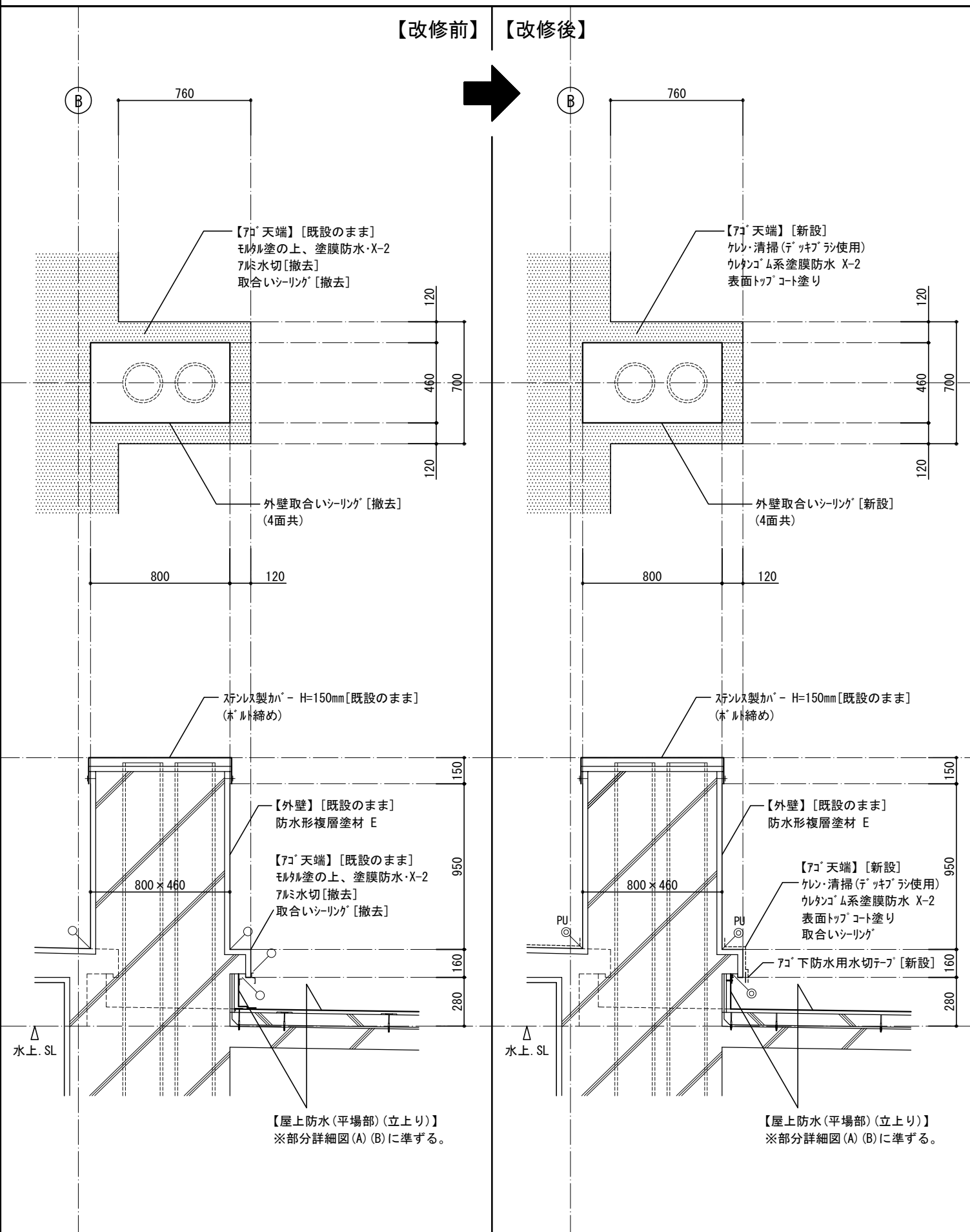
【改修前】
 【改修後】



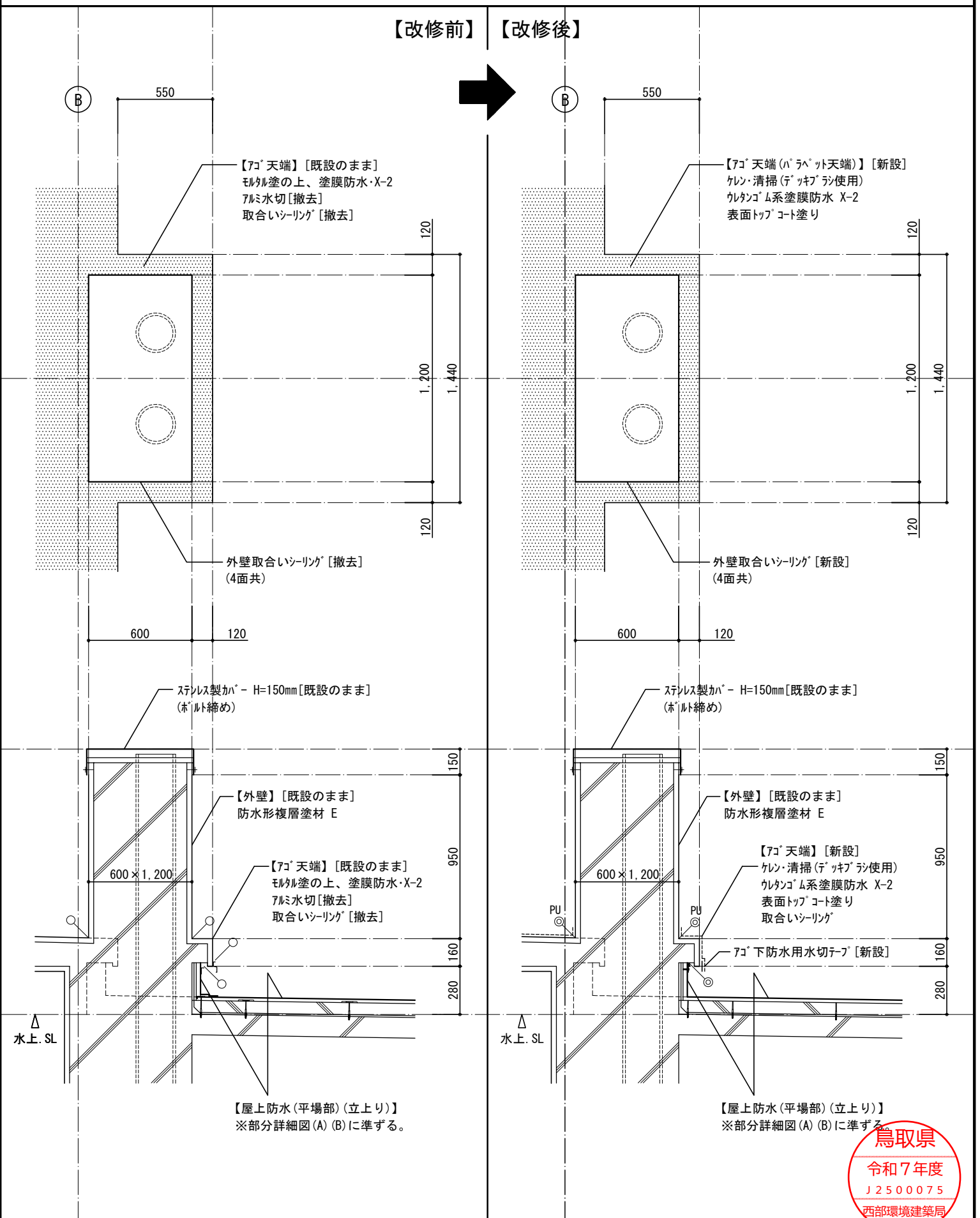
■ 既設防水層撤去は固定デック共【撤去】とし、固定アンカ頭部はサンダー等で切削処理とする。

■ アンクル架台用基礎ブロック(既製品) 160mm×140mm角×H110mm (鋼製架台付き、ホルトナット締め)
 ゴムマット敷き【再使用】

【煙突立上り(1) - 4か所】部分詳細図 S=1/20 ■ PU... ゴムアスファルト系シーリング材[新設] ■ PU... ホリウレタン系シーリング材[新設]



【煙突立上り(2) - 1か所】部分詳細図 S=1/20 ■ PU... ゴムアスファルト系シーリング材[新設] ■ PU... ホリウレタン系シーリング材[新設]



■既設防水層撤去は固定ディスク共[撤去]とし、固定アンカ頭部はサング-等で切削処理とする。

高垣設計室
ROOM TAKAGAKI ARCHITECT & DESIGNROOM
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第03-1324号

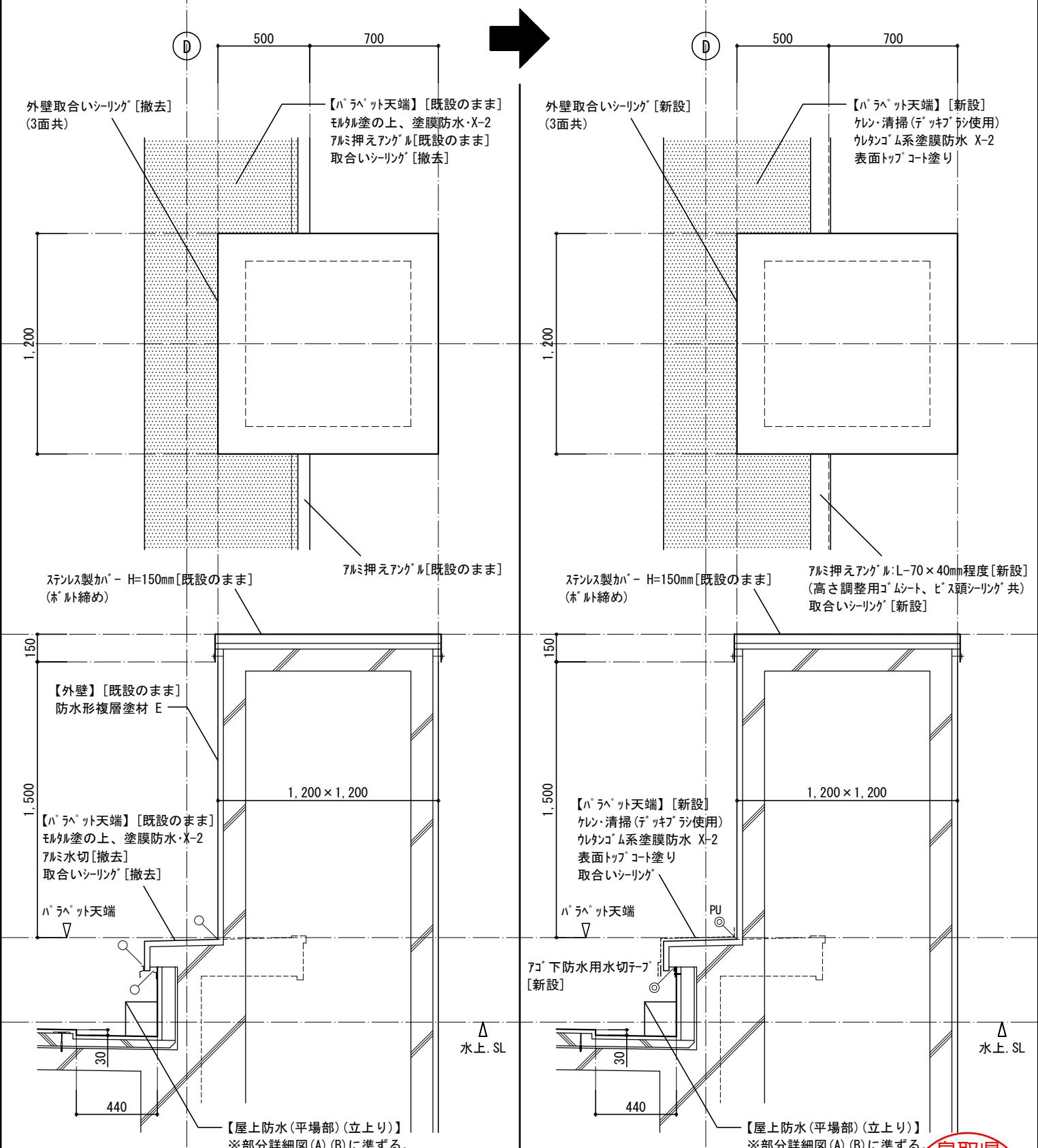
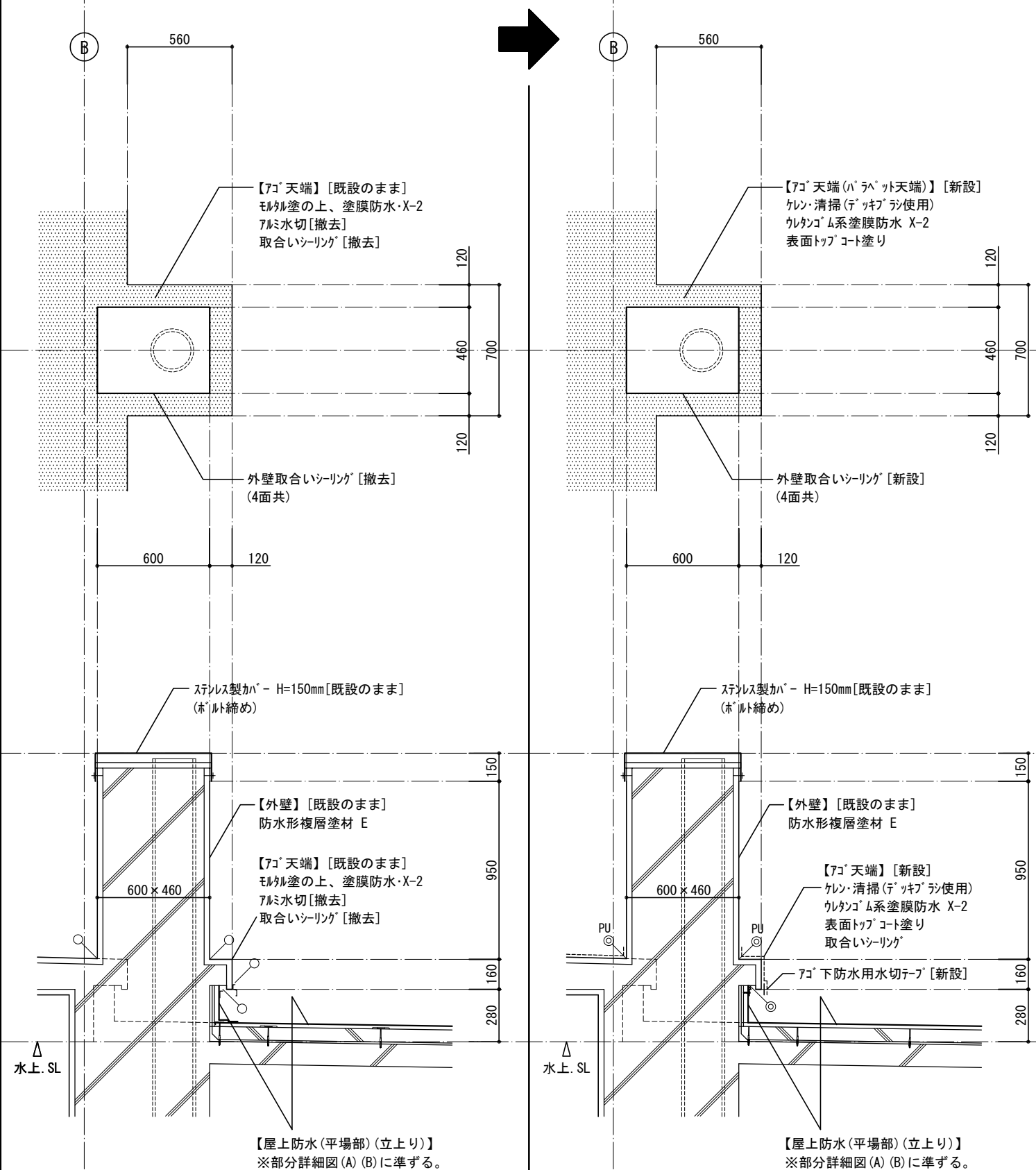
TITLE NAME 県立米子白鳳高等学校管理特別教室棟屋上防水改修工事
DRAWING NAME 【改修図】部分詳細図(2)

SCALE S=1/20 DATE 令和07.08
A3版図面縮小率: 70.7%
意匠設計担当 高垣 護
一級建築士大臣登録 第279890号
DRAWING NO. A-10



【改修前】 【改修後】

【改修前】 【改修後】



■既設防水層撤去は固定ディスク共[撤去]とし、固定アンカ頭部はサング-等で切削処理とする。

TD 高垣設計室
ROOM TAKAGAKI ARCHITECT & DESIGNROOM
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第03-1324号

TITLE NAME 県立米子白鳳高等学校管理特別教室棟屋上防水改修工事
DRAWING NAME 【改修図】部分詳細図(3)

SCALE S=1/20
DATE 令和07.08
A3版図面縮小率: 70.7%

意匠設計担当 高垣 護
一級建築士大臣登録 第279890号

DRAWING NO. 鳥取県 令和7年度 J2500075 西部環境建築局
DRAWING NO. A-11

